

教材マスターの集いMAX2014<冬>

『J☆sKepアプローチに基づく療育を 思春期を迎えた子供たちの家庭生活に生かすために』

〔講演：発達障がいがある人の「働く」ための準備〕
〔実践報告：思春期を迎えた子どもたちの家庭療育の実際〕

主催：たすく株式会社 後援：J☆sKep研究会

たすくは、一貫性と継続性のある支援体制の構築を行う専門機関です。そのため、療育は、学校、療育機関、学童保育、児童発達支援事業などの機関だけではなく、家庭との協働を重視します。ご家族を共同療育者として位置付けることで、子ども達にとって本当に必要な機能的な目標に取り組むことができると考えています。その実践報告が、教材マスターの集いMAXの趣旨です。

今回のテーマは、『J☆sKepアプローチの向上を思春期を迎えた子供たちの家庭生活に生かすために』としました。思春期のお子さんは、自分ではどうにもならない情動のコントロールの不全が生じ、その対応に本人も家族も戸惑います。こんな時、J☆sKepアプローチを軸に療育を積み上げてきたことの真価が発揮されるのですが、今回は、そんな経験を積まれている3組のメンバーから実践報告として発表して頂く機会を得ました。

代表の僕からは、関連して「働く」ための準備に関する講演をします。
師走のお忙しい時期ではありますが、お子さんの今と将来を熱く語り合う会にしたいと思います。
皆さんの、ご参加を心からお待ち申し上げます。 たすく代表 齊藤宇開

日時：平成26年12月14日（日）
10:00～15:30（9:45開場）

講師：齊藤宇開（たすく代表）

場所：TKPスター会議室東戸塚
（横浜市戸塚区品濃町549-2三宅ビル7F）

定員：60名

受講料：一般6,000円・保護者3,000円

申込み：school@tasuc.com



タイムスケジュール		
9:45	10:00～12:00	13:00～15:30
受付	<p>〔講演〕 齊藤宇開 発達障がいがある人の「働く」ための準備 発達障がいがある人が「働く」ために大切なことは何だろう。働くためのモチベーションがどうして生まれないのか。 本講演では、自尊感情の大切さや、ライフステージに応じた具体的な準備の内容、方法の提示を試みる。</p>	<p>〔グループワーク/実践報告/まとめ〕 思春期を迎えた子供たちの家庭療育の実際</p> <ul style="list-style-type: none">●主体性を重んじて自信をつけるとともに、マインドマップで思考を整理し、表出につながったKくん●内発的動機付けに基づいたアプローチで生活スキルの習得にチャレンジするTくん●同時処理の強みを生かした指示書を使ってひとりでお手伝いに取り組むIくん

受講料

対象	受講料
①一般	6,000円
②保護者（療育手帳のコピー）	3,000円
③学生（学生証のコピー）	

◎お申し込みは、メール、またはFAXでお願いいたします。

◆メール：school@tasuc.com（担当：姫野 宛）

◆ FAX 参加申込書 〈0467-23-2156〉

フリガナ			男 ・ 女
お名前			
ご自宅住所	〒 -		
電 話		F A X	
申し込み内容	研修の種類：教材マスターの集いMAX		
	開催日： 12月14日(日)		
E-mail			
割引	※該当の方のみ、割引の種類をご記入ください。		